# 庁 議

日時: 3月26日(木) AM8:30 <庁議室>

# 【市長挨拶】

# 【連絡事項】

1 庁達について 企画部長

2 ゆう活・あさ活(早出・遅出勤務)の実施について 企画部長

3 平成30年度決算における統一的な基準による財務書類について 総務部長

【その他】

# 資料No. 1

# 3月26日 庁議提出案件

●内 容 【 2. 連絡事項 】

〇公 開 【 1.可 】

〇公開時期【 3. その他(4月1日以降)】

企画部長 氏名 正田 吉一 内線2200

### 【表題】

庁達について

# 【目的】

令和2年度の開始にあたり、職員に全体の奉仕者としての自覚を促し、服務規律の確保 を図るため庁達を発する。

# 【概要】

- 1 庁達の内容
- (1)服務規律を確保すること
- (2) 公金等の管理に万全を期すること
- (3)親切丁寧な市民応対を行うこと
- (4) 交通事故防止及び交通法規遵守のこと
- (5)健康管理に努めること
- 2 庁達文

裏面のとおり

3 周知方法

4月1日にメール連絡責任者宛に庁達を送付するので、所属長は直接口頭にて職員に 周知願いたい。

# 【備考】

\* 問い合わせ先 企画部人事課人事係 内線2231 47-1810 ダイヤルイン

# 3月26日 庁議提出案件

# ●内 容 【 2. 連絡事項 】

〇公 開 【 1. 可 】

〇公開時期【 3. その他(4月1日以降) 】

企画部長 氏名 正田 吉一 内線2200

# 【表題】

ゆう活・あさ活(早出・遅出勤務)の実施について

### 【目的】

長時間労働の是正を始めとする働き方改革は、官民や国・地方を問わず重要な政策課題となっており、職員のワークライフバランスを推進することは、職員の心身の健康維持及び質の高い行政サービスを提供するためにも不可欠なものとなっています。

このことから、本市においても働き方改革の趣旨を踏まえ「ゆう活・あさ活(早出・遅出 勤務)」の取り組みを実施するものです。

# 【概要】

- 1 実施期間
  - ・令和2年4月1日から(通年)

#### 2 対象職員

・早出・遅出勤務を希望する正規職員 (8時30分から17時15分を勤務時間とする職員)

#### 3 勤務時間

・市の執務時間(8時30分から17時15分まで)及び休憩時間(12時から13時まで)は変更せずに、勤務時間の割振りを次のとおりとする。

早出勤務(ゆう活)	遅出勤務(あさ活)
① 7時30分~16時15分	③ 9時00分~17時45分
② 8時00分~16時45分	④ 9時30分~18時15分

#### 4 その他

- 早出遅出勤務をした職員に対しては、当該日に時間外勤務を命令しないこと。
- ・ノ一残業デーを徹底し、引き続き時間外勤務の縮減と職員の健康増進を図ること。
- ・早出勤務を実施した者は、残る職員との引継ぎ等を行うなど市民サービスの低下を 招かないようにすること。

# 【備考】

\* 問い合わせ先 企画部人事課人事係 内線2231 47-1810 ダイヤルイン

# 3月 26日 庁議提出案件

●内 容 【 2. 連絡事項 】

〇公 開 【 1.可 】

〇公開時期【 1. 庁議後 】

総務部長 氏名 髙島 賢二 内線 (TEL) 2300

# 【表題】

平成30年度決算における統一的な基準による財務書類について

#### 【目的】

総務省より示された統一的な基準による財務書類の作成により、企業会計的な視点からス トック情報(資産・負債・純資産)や見えにくいコスト情報(減価償却費等)を明らかにす ることで、より正確な市の財務状態を把握するために行うものです。

# 【概要】

一般会計等(一般会計、住宅新築資金等貸付特別会計及び八王子山墓園特別会計)のほか、 全体会計、連結会計による財務書類4表を作成。特徴としては、発生主義・複式簿記の導入、 固定資産台帳の整備、他団体との比較可能性の確保などが挙げられます。

#### 1 財務書類(一般会計等)について

①貸借対照表(BS)

基準日時点における財政状態を表示

資産 298, 991, 386千円 (▲4, 262, 659千円)	負債 77, 932, 664千円 (▲3, 874, 044千円)
うち現金預金 2,783,483千円 (▲408,102千円) ※カッコ内は前年度」	純資産 221, 058, 722千円 (▲388, 615千円) 比
※有形固定資産減価値 H28:53.0% ⇒H29:5 ④資金収支計算書( 現金の受払いを3・	55. 2% ⇒H30:56. 7% C F)
業務活動収支	7, 926, 941千円
投資活動収支 財務活動収支	▲4, 438, 100千円 ▲3, 911, 356千円
前年度末資金残高	2, 987, 879千円
本年度末歳計外現金	

②行政コスト計算書(PL) 費用・収益の取引高を表示

経常費用	73, 129, 347千円	
経常収益	3, 614, 315千円	
臨時損失	158, 784千円	
臨時利益	307千円	
純行政コスト	▲69, 673, 509千円	
※現金支出を伴わない 当引当金などを計上	減価償却費や退職手	
③純資産変動計算書( 純資産(及びその内部	•	
前年度末純資産残高	221, 447, 337千円	
純行政コスト	▲69, 673, 509千円←	
財源(税収等、補助金)	) 69, 102, 987千円	
本年度差額	▲570, 523千円	
本年度純資産変動額	▲388, 615千円	
本年度末純資産残高	221, 058, 722千円	

## 2 各指標の推移について

財務書類作成後3年間の推移のほか、参考として平成29年度類似団体平均を掲載しました。どの指標もおおむね良好な結果となっております。

『償還元金を超えない市債の発行』を堅持したことにより、⑦住民一人当たり負債額は減少しているほか、④純資産比率及び⑤将来世代負担比率について改善が見られます。一方、③有形固定資産減価償却率については、減価償却が進んでおり公共施設の長寿命化対策などを行っていく必要があります。また、⑧プライマリーバランスは、類似団体と比較して大きく黒字になっており良好な状況にありますが、引き続き、税収確保に努めていきます。

#### I 資産の状況(将来世代に残る資産はどのくらいあるか)

		H30	H29	H28	H29 類似団体
① 住民一人当たり資産額	千円	1, 333	1, 351	1, 353	1, 399
② 歳入額対資産比率	年	3. 69	3. 60	3. 38	3. 76
③ 有形固定資産減価償却率	%	56. 7	55. 2	53. 0	58. 7

### Ⅱ 資産と負債の比率(将来世代と現世代との負担の分担は適切か)

		H30	H29	H28	H29 類似団体
④ 純資産比率	%	73. 9	73. 0	71. 5	72. 6
⑤ 将来世代負担比率	%	14. 1	14. 6	15. 3	14. 2

# Ⅲ 行政コストの状況(行政サービスは効率的に提供されているか)

	H30	H29	H28	H29類似団体
⑥ 住民一人当たり行政コスト 千円	311	318	311	300

# Ⅳ 負債の状況(財政に持続可能性があるか)

		H30	H29	H28	H29 類似団体
⑦ 住民一人当たり負債額	千円	347	364	386	383
⑧ プライマリーバランス	千円	5, 777, 811	3, 016, 792	3, 393, 015	805, 800

#### V 受益者負担の状況 (受益者負担の水準はどうなっているか)

		H30	H29	H28	H29 類似団体
⑨ 受益者負担比率	%	4. 9	4. 8	5. 1	5. 0

# 【備考】

\* 問い合わせ先 総務部 財政課 財政係 内線2333 47-1816ず 付いか